

本市では、第5次川口市総合計画において、本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出するとしています。

本提案では、綾瀬川の右岸側で、連続して遊歩道を整備し、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出するとともに、隣接都市とのネットワーク化を図り、まちの活性化を目指します。

取組のイメージ図

ネットワークイメージ図



整備イメージ



計画等の位置付け

■第5次川口市総合計画

本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出することとしている。

■川口市都市計画基本方針

綾瀬川は、川口市の自然を象徴する水と緑の骨格として、河川改修事業にあわせ、やすらぎとうるおいを与える護岸や河川敷の緑化、遊歩道親水空間などの活用を進めることとしている。

■川口市健康・生きがいづくり計画

健康で生きがいをもって暮らすことができる都市・川口を推進することとしている。

目標・成果指標

■豊かな水と緑に親しめる空間の創出

・本市に広がる貴重な自然環境に遊歩道を整備し、市内外からの人々が歩いて水と緑に親しめる憩いと安らぎの空間を創出する。また、隣接する市とのネットワーク化を検討し、まちの活性化を目指す。

■うるおいある水辺空間の整備

- ・環境保全機能の充実 → 不法投棄の抑制
- ・防災機能の充実 → 避難地としての活用

成果指標	現在	整備後
遊歩道利用者	—	100人/日

位置図



川の状況

- 市内の綾瀬川は延長3.5km
- 活動団体 3団体
川の国広援団の登録として
 - ・綾瀬川を愛する会
 - ・戸塚北小学校
 - ・戸塚綾瀬小学校
- 川の特徴
 - ・江戸時代中期に開かれた舟運は、昭和30年代まで使われた。
- 過去の事業
 - ・草加市において水辺再生100プランで遊歩道の整備が完成している。
施工済延長: 674m
 - ・草加市において、ヘルシーウォーキング事業として、水辺再生100プラン整備区間の南側の整備が完成している。
施工済延長: 3km

まちの状況

- 地域資源
 - ・大消費地である東京に隣接していることを背景に、伝統的な鋳物工業をはじめ、機械工業、木型工業などによる「ものづくりのまち」として発展しています。
 - ・植木、花き、造園を中心とする緑化産業や新たな産業としてインキュベーションオフィスや映像などのコンテンツ関連の取り組みを行っています。
- 課題
 - ・安行台地を中心とする緑豊かな環境が人々にうらおいを与えてくれる一方で、長期的な課題としてインフラの整備を必要としている地域が残っています。
 - ・健康増進に関する課題として、安全に歩ける環境整備を行う必要があります。
 - ・本市への集客や交流を生み出すため、さらなるアクセスの改善と地域資源の活用を図り、「住みたいまち」、「住んでよかったまち」、「住み続けたいまち」となるよう、環境整備を行う必要があります。

位置図



あずまや設置のイメージ



ベンチ設置のイメージ

事業等の概要

ハード

- 誘導標識の整備
 - ・ 近隣公園、福祉村への誘導等看板設置
- 休憩施設等の整備
 - ・ ベンチ、あずまやの設置検討
 - ・ 近隣公園に健康増進遊具の設置検討

ソフト

- 施設利用の充実
 - ・ ウォーキングマップの作成検討
- 情報発信
 - ・ 観光ガイドブックの作成検討
 - ・ インターネット、SNS等の活用を検討
 - ・ 水質改善
 - (下水道の整備率向上、接続率の向上等)
 - ・ 広報紙やイベントでの啓発活動を検討
 - ・ 1日の歩数を1500歩を目標に増やす啓発活動を検討

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
計画策定		●————●				—
誘導標識の整備			●————●			10百万円
休憩施設等の整備			●————●			10百万円

位置図



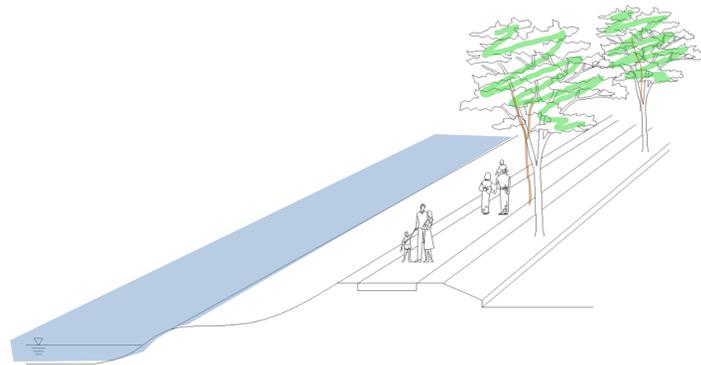
遊歩道未整備



遊歩道整備後

実施してほしい整備概要

- 遊歩道の整備（延長 約3,500m）
 - ・堤防上の舗装（遊歩道）
 - ・スロープ、ウッドデッキ(JR高架下、橋梁下)



工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
計画策定		●————●				—
遊歩道整備			●————●			250百万円